

石川県立図書館資料選択基準

（目的）

1. 本基準は、石川県立図書館（以下、「当館」という。）の資料について、石川県立図書館資料収集方針（以下、「収集方針」という。）第9条に基づき、購入・寄贈等によって収集するための選択基準である。

（収集水準）

2. 本選択基準で示す収集水準は以下のとおりとする。

ア 収集しない：いかなる資料も収集を行わない（収集率 0%）

イ 限定的に収集する：蔵書構成上の必要性に応じ、厳選して収集する。（収集率約 20%）

ウ 選択的に収集する：出版情報をもとに、蔵書構成に相応しいものを選択して収集する。
（収集率約 40%）

エ 積極的に収集する：出版情報をもとに、当該資料群において価値のある資料が漏れないよう積極的に収集する。（収集率約 60%）

オ 包括的に収集する：関連する資料をできる限り多く収集する。（収集率約 80%）

カ 網羅的に収集する：関連する資料を漏れなく収集する。（収集率 100%）

（重点収集資料）

3. 収集方針の第4条に示す通り、

ア 幅広い県民の知的好奇心を満たし、学習や調査研究にも活用される資料

イ 県民に寄り添い、日常生活に役立つ資料

ウ 石川の文化の裾野の拡大を支える資料

を、当館において重点的に収集することとする。

（石川県関係資料）

4. 当館は本県唯一の県立図書館として、本県の豊かな文化・歴史を未来へと継承するため、収集方針に基づき、石川県にかかわる地域資料を網羅的に収集することとし、資料収集に関する事項について以下の通り定める。

（1）用語の定義

①地域資料

地域資料とは「郷土資料」「郷土先哲著作」「石川県行政資料」「石川県学校資料」を言う。

②郷土

ア 現行の行政区画に基づく石川県全域を範囲とする。

イ 廃藩置県以降、現行の石川県が成立するまでの期間については、現在の本県の領域を一部でも含む行政区画とする。

ウ 藩政時代については、現石川県域および加賀藩領域とする。

③郷土人及び郷土先哲

以下のア～ウに該当する人物を郷土人とする。

ア 郷土出身者

イ 郷土在住者

ウ 郷土に在住したことがある者

エ 郷土人の中で特に郷土に影響を与えた者を郷土先哲人物とし、別表 1－1 で定める

(2) 収集資料の範囲

①郷土資料

(郷土資料の定義)

ア 郷土に関する地域の地誌（歴史・地理・自然・産業・文化）に関する資料

イ 郷土人に関する資料（伝記）

ウ 郷土に関する地域に伝来する事柄（民話・伝説・言葉・風俗・風習）に関する資料

エ 郷土で出版された資料

オ その他、石川県を含む北陸地域に関する内容を含む資料

カ 石川県内の同人に所属する郷土人の歌集・句集・詩集

キ 郷土の芸術家の作品集とその作品論

(収集範囲)

網羅的に収集する。ただし、町内会会報や名簿類（公にすることを前提とせず、個人情報記載された資料）は積極的に収集を行わない。

②郷土人著作

(郷土人著作の定義)

郷土先哲人物の著作とその作品論を言う。

(収集範囲)

戦前の郷土先哲人物の文学作品及び郷土先哲人物の思想を知ることができる著作とその作品論を重点的に収集する。その他は、選択的に収集する。

③石川県行政資料

(石川県行政資料の定義)

ア 石川県内の自治体または外郭団体・関連団体の刊行物

イ 石川県を含むブロックの行政または外郭団体・関連団体の刊行物

(収集範囲)

媒体を問わず網羅的に収集する。

④石川県学校資料

(石川県学校資料の定義)

石川県内の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・短期大学・大学・専門学校等の発行物

(収集範囲)

石川県の学校に関する案内・要覧・紀要などを網羅的に収集する。ただし学校報・学校図書館報・PTA 会報などは積極的に収集を行わない。

(3) その他

ア 原則として、発行された現物（紙資料・電子資料等）で保存する。

イ 貴重な資料（後世に影響を与えると思われるもの、複本がないもの、劣化が著しい資料など）は著作権法第 31 条に基づき電子化やその他の媒体に変換し保存する。

ウ 収集部数については、別表 1－2 で定める

エ 地域資料に該当する視聴覚資料（映像資料・録音資料・電子資料・マイクロ資料）は選択的に収集する。

オ 石川県に関係のある地域・人物・事物・信仰など重点的に収集する一般資料のテーマについては別表 1－3 で定める。

(里の恵み・文化の香り～石川コレクション～)

5. 第 3 条③に関し、石川県の文化の背景や広がり理解を深めるため、以下のテーマを「里の恵み・文化の香り～石川コレクション～」として形態や対象地域を問わず積極的に収集する。なお、資料選択にあたってのキーワードについては別表 2 で定める。

- ・ 伝統文化に関するもの
- ・ 里山里海・生物文化多様性に関するもの

(基本図書の収集)

6. 第 3 条の趣旨を踏まえ、以下を当館における「基本図書」として包括的に収集する。

- ア 基本的な辞典・事典、図鑑、年表等の参考図書
- イ 白書・統計、その他の政府刊行物
- ウ 入門的な学術書のうち評価の定まったもの
- エ 教養的な一般書のうち評価の定まったもの

(資料選択における基本的事項)

7. 選択基準にかかる基本的な事項については以下のとおりとする。

- ア 特定の分野について、専門的な資料のほか、限局的または些末な内容の資料も必要に応じて収集する。ただし、これらは原則、本県との関わりが強いものを選択する。
- イ 分野に関わらず、個人全集は編集方針・刊行予定を精査して包括的に収集する。
- ウ 個人著作集は既刊著作の所蔵状況を確認の上、収集を判断する。
- エ 叢書や講座（シリーズ）は、刊行予定や編集方針を精査し、類書の有無を確認した上で、積極的に収集する
- オ 娯楽的な一般書の選択にあたっては、話題性のあるものなど、県民の需要を踏まえることとする。
- カ 学習参考書および問題集は原則として収集しないこととし、選択する場合は特定テーマを別に定める。
- キ ゲームの攻略本は原則として収集しない。
- ク 資料の選択にあたっては、特定団体等の主義・主張に偏重することなく、また、対立する意見のある問題はそれぞれの観点に立つ資料を選択するなど、多様な思想や主張が共存するよう努めることとする。

(資料選択基準)

8. 第 6 条で定める基本図書のほか、当館として収集すべき具体の資料選択基準を以下のとおり定める。

- (1) 一般（日本十進分類法（NDC）第 10 版の区分に従うもの）
別表 3 のとおり。
- (2) 逐次刊行物
別表 4 のとおり。なお、次に該当するものは原則、収集しない。

- ア 大学紀要など大学等研究機関の発行物
- イ 施設等の事業報告書
- ウ 事業報告が中心のニュースレター
- エ 刊行物の掲載内容が書籍・年鑑にまとめられたもの、またはウェブサイトで公開されたもの
- オ 他県の行政刊行物・広報紙
- カ 他県の研究誌、研究所・博物館・美術館等の紀要類
- キ 学習教材・保育雑誌
- ク 月刊絵本
- ケ 発行元以外からの寄贈を受けたもの

(3) 児童書

①用語の定義

ア 児童図書

乳児から中学生までを主な利用対象として作成された絵本、文学の本、知識の本、紙芝居をいう。

イ 児童図書研究書

大人を利用対象として作成された子どもの読書活動を推進するために役立つ資料、児童図書の研究に役立つ資料、市町立図書館及び県内学校図書館の児童サービスを支援するための資料をいう。

②資料選択基準は以下のとおりとする。

ア 児童図書

国内で刊行される新刊児童図書は、選定見本として網羅的に収集する。ただし、以下のものは次のように取り扱うものとする。

(原則として収集しないもの)

- ・試験問題集、学習参考書、各種教材
- ・シールブック、マグネットブック
- ・切り抜き、切り取りなど、工作を目的に出版されているもの
- ・基本的装丁を欠いているもの
- ・長期使用に耐えられないもの
- ・通常的手段で購入できないもの

(精査して収集するもの)

- ・マンガの収集にあたっては、以下に留意するものとする。

装丁がしっかりしており、長期利用に耐えうるもの

難解な内容を比較的容易に理解するようにできているもの

内容が真実性に富み、学問上の真理や歴史上の事実が歪められず健全なもの

絵の表現が健全なもの

(複本を限定的に収集するもの)

- ・基本資料として評価の定まったもの
- ・各種の賞を受賞したもの、選定図書、課題図書、各団体の推薦を受けたものを中心に、優れたもの、話題になったもの
- ・石川県をテーマにしたもの

- ・学校図書館等の団体で、長期的に複数冊ずつ利用される見込みのあるもの
(外国語図書の取扱い)

- ・石川県に関する外国語で書かれた図書は網羅的に収集する。
- ・県と関係を有する外国都市等に関連した図書は選択的に収集する。
- ・留学生や石川在住の外国人児童、外国語を学ぶ学生等を対象とした図書は、利用に鑑みて限定的に収集する。
- ・外国の文化や言語に触れることができる図書は、限定的に収集する。

イ 児童図書研究書

- ・大人を対象に、子どもの読書を推進するために役立つ資料、児童図書の研究に役立つ資料は網羅的に収集する。
- ・市町立図書館及び県内学校図書館の児童サービスを支援するための資料は選択的に収集する。

(4) ヤングアダルト資料 (YA資料)

①用語の定義

当館におけるヤングアダルトは、概ね13歳から19歳の利用者を指し、これらの利用者のために選択された資料をYA資料という。

②資料選択基準は以下のとおりとする。

ア 0類から9類までの各分野に関する入門書や基本的な内容の資料を積極的に収集する。

イ 写真やイラストが豊富であるなど、ビジュアル的に分かりやすい資料を選択的に収集する。

ウ 哲学、生き方、心理学のほか、人間関係や悩みなどについて分かりやすく知識を得、自ら考えるきっかけになる資料を積極的に収集する。

エ 進学や留学、就職を考える上で参考となるような資料を積極的に収集する。

オ 学習、部活、行事など学校生活に関わる資料を選択的に収集する。

カ 学習指導要領に含まれる分野の資料は、内容に留意して限定的に収集する。

キ ヤングアダルトの興味関心が高い内容の資料や、旬の主題を取り上げた資料を選択的に収集する。

ク ヤングアダルトと同年代を登場人物とする小説、ヤングアダルトに人気の高い小説を選択的に収集する。

ケ 一人暮らし、家事、アルバイト、スマートフォン、SNSなどヤングアダルトの日常生活に関わりの深い資料を選択的に収集する。

コ 学校や地域でのイベントなど、地域に密接したヤングアダルト向けの情報を積極的に収集し、発信する。

(5) 外国語資料

外国語資料については、日本人作家の作品の翻訳を限定的に収集するほか、海外での受賞作や内外で話題になった洋書を限定的に収集する。また、別表3など他の項目に具体的に規定されているものはその内容に従うものとする。

(6) レファレンスブック

①用語の定義

レファレンスブックとは、既知の情報を整理して項目見出しのもとにまとめ、それを一定

の順序（五十音順、年代順、その他の体系順）に配列することによって、特定の情報が容易に見つけ出せるように編集された知識の本。特定の調査のためにくり返し利用される一般図書も含める。これらレファレンスブックの集合体をレファレンスコレクションとする。

②資料選択基準は以下のとおりとする。

利用者のレファレンスや調べものに対応するため、以下の資料について、NDCの各類において積極的に収集する。

- ・利用者の調査研究活動に提供する資料
- ・政府刊行物の白書・統計及び国際機関や民間の統計
- ・地図や地図帳のうち、調査研究に用いられる資料
- ・地名辞典

（７）視聴覚資料

①用語の定義

視聴覚資料とは、映像、音声などの文字以外の表現方法を用いて記録された資料を指す。なお、障害のある利用者向けに作成されたものは、本選択基準の該当項目で規定する。

②資料の形態

視聴覚資料として収集する資料形態は以下のとおりとする。

ア パッケージ系電子資料

CD（コンパクトディスク）、DVD（デジタルヴァーサタイルディスク）、BD（ブルーレイディスク）

イ ネットワーク系電子資料

契約により利用可能となる音声サービス及び放送サービス

③資料選択基準は以下のとおりとする。

当館が所蔵する一般資料、逐次刊行物、児童書、ヤングアダルト資料等の利用の促進または理解の補助に資する視聴覚資料を限定的に収集することし、選択にあたっては、当館のテーマ別エリア配架として設定される12テーマに関連が深いものに限定することとする。

また、当館の多様な過ごし方を提供するため、各種音楽や児童向けのアニメーションなどについて、主にネットワーク系電子資料を活用し限定的に収集（契約）する。

（８）ユニバーサル資料

①用語の定義

ユニバーサル資料とは、障害のある利用者を対象とした資料及び障害を理解し支援するための資料を指す。

②資料選択基準は以下のとおりとする。

ア 視覚障害者等向け録音図書は限定的に収集する

具体的にはリクエストのあったもののほか、出版されている録音図書のうち各文学賞受賞作品、寄贈の申し出を受けたもの

イ 点字図書は寄贈の申し出を受けたものに限り収集する

ウ 点字付き絵本は網羅的に収集する

エ LLブックをはじめ、日本語の読み書きが得意ではない方や知的障害のある方などのためにやさしく読みやすく書かれた図書は網羅的に収集する

オ 布絵本は限定的に収集する

カ 大活字本は包括的に収集する

キ 障害を理解するための図書（一般書）を選択的に収集する

ク 特定非営利法人全国視覚障害者情報提供施設協会が運営する視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」と連携の上、障害のある利用者に適切な資料を提供する

（９）電子資料

①パッケージ系電子資料

視聴覚資料やユニバーサル資料については、本選択基準の各項目で規定する内容に基づき収集する。このほか、保存の必要のある新聞のうちDVD等の媒体が望ましいもの、各種調査報告書や年鑑など、県民の調査研究に有用なものを限定的に収集する。

②ネットワーク系電子資料

- ・ 検索の利便性に留意しつつ、調査研究に有用なものを限定的に収集（契約）する。
- ・ 新聞について、バックナンバー管理の観点からネットワーク系電子資料としての形が望ましいものはデータベース契約を行う。
- ・ 視聴覚資料に関係するものは同条（６）の規定に従い収集（契約）する。

③ボーンデジタル資料

本選択基準に基づき収集する資料のうち、電子データで収集可能な資料は、当館におけるボーンデジタル資料として電子データでも収集できることとし、この場合は紙資料の収集・登録を行う必要はない。なお、具体の資料の選択基準は各項に示す選択基準の規定に従う。

（１０）学校支援用図書

①用語の定義

学校支援用図書とは、学校の授業や活動で利用される図書を指す。

②資料選択基準は以下のとおりとする。

国語の教科書に掲載されている「並行読書」用の図書のほか、修学旅行や職場体験などといった校外での活動のために利用される図書、学校からの要望が多い図書を選択的に収集する。なお、学校支援という性格に鑑み、複本を限定的に収集する。

（１１）新聞

①収集する新聞は以下のとおりとする。

この他に、逐次刊行物の扱いで収集する新聞がある。

（全国紙）

朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞、産経新聞 以上５紙

（英文紙）

Japan Times 以上１紙

（地方紙）

北國新聞、北陸中日新聞、北日本新聞、富山新聞、福井新聞、福島民報、福島民友
以上７紙

（産業紙）

日刊工業新聞、日経産業新聞、日経MJ 以上３紙

（業界紙）

建設工業新聞、日本食糧新聞 以上２紙

（専門紙）

週刊読書人、図書新聞、聖教新聞、宗教新聞、神社新報、新宗教新聞、本願寺新報、週刊経団連タイムス、民団新聞、教育家庭新聞、教育学術新聞 以上１１紙

(政党機関紙)

寄贈いただけるものを収集する

(子供向け新聞)

朝日小学生新聞、中日こどもウィークリー 以上2紙

②新聞の保存

新聞のバックナンバーについては、県民の調査研究に役立てるため、地方紙のうち北國新聞と北陸中日新聞、全国紙のうち朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞について、デジタル化やマイクロフィルム、データベース契約、縮刷のいずれかの媒体で提供する。新聞各紙の原紙については、保存期限を別に定める。

(除籍基準)

9. 収集方針第11条に関し、当館資料の適切な維持・管理のために必要な資料の除籍を行うこととし、その基準を以下の通り定める。

①次の項目の一に該当する資料については不用を決定し、除籍するものとする。

ア 著しい汚損、破損又は書き込み等があり、補修が不可能な資料

イ 不要と判断される資料（逐次刊行物を除く）

- ・記述内容が古くなり資料価値が減じたもの
- ・同一の内容で更新されたもの
- ・複本もしくは類書を有し、保存の必要のないもの
- ・既存資料のデジタル化等により保存形態の変更を行った資料で、原資料の保存を必要としなくなったもの。
- ・別表3など、他の項目で除籍について直接規定しているもの
- ・視聴覚資料及び電子資料のうち、再生機器が入手できなくなるなどして利用ができなくなったもの。
- ・その他出版事情、蔵書構成、利用者の需要、資料の保存価値等を総合的に判断して保存する必要がないと認められるもの。ただし、変遷内容を比較する必要があると思われる資料を除く。

ウ 不要と判断される資料（逐次刊行物）

雑誌のタイトルごとに保存の必要性を判定し、「5年」または「永年」の保存期限を設定し、期限が過ぎたものは除籍する。永年保存の基準は以下のとおりとし、これに該当しないタイトルの保存は5年とする。増刊号・特別号等の保存年限は、通常号に準ずる。

- ・調査・研究に役立つもの
- ・県立図書館でしか収集・保存されないと予想されるタイトルで類誌がなく、かつ貴重なもの
- ・郷土雑誌(石川県に関するもの)
- ・石川県を理解する上で必要となる隣県に関するもの
- ・図書館・公文書館の運営の参考になるもの
- ・すでに長い蓄積があり価値があると認められるもの、あるいはバックナンバーの利用が多いもの
- ・他媒体で代替不可のもの

- ・特殊コレクション雑誌
- ・その他館長が必要と認めたもの

ただし、デジタル公開されている雑誌は、上記条件にあてはまる場合も永年保存しないことができる。

エ 事故等により当館に存在しない資料

- ・亡失による資料（災害その他で亡失の届出のあったもの）
- ・所在不明資料（3年間所在不明の本）
- ・回収不能資料（返却予定日から3年が経過し、所定の手続きを経て回収が不能なもの）

オ 合本・製本、移管等によって数量変更を行う資料

②除籍資料の選択は当該資料を管理する司書が行い、資料選定委員会で決定する。

③除籍を決定した資料については、速やかに必要なデータ処理を行うとともに、資料の廃棄を伴う場合には適切に対応することとする。

（寄贈に関する受入基準）

10. 当館における寄贈資料の受け入れに関し、必要な事項を以下のとおり定める。

①寄贈を受ける資料は以下の要件を全て満たすものとする。

ア 本選択基準の各規程に適合するもの。

イ 汚損、損傷がなく、図書館として閲覧・展示などのサービス提供が可能なもの。

ウ 図書館所蔵資料と重複しないもの（ただし、石川県に関する資料はこの限りでない。）

エ 寄贈後の利用、保管方法等に条件が付されていないもの

②寄贈資料の管理については次のとおりとする。

ア 寄贈しようとする者（以下、「寄贈者」という。）は、寄贈資料の取り扱いについて、当館に一任するものとする。

イ 寄贈を受けた資料は寄贈者に返却しない。

ウ 寄贈者は、当館の判断により寄贈資料を処分する場合があることを了知するものとする。

エ 個人名や団体名を冠したコレクション・文庫は作らない。

③寄贈の手続きについては次のとおりとする。

ア 事前手続

寄贈者は、あらかじめ資料が①に規定する要件を満たしていることについて、図書館職員の確認を受け、かつ、②の条件を了知する旨の意思を明示するものとする。

イ 寄贈の申込

寄贈の申込は、寄贈者は、別に定める寄贈申込書によるものとする。ただし、アの手続きを経ることなく送付された資料の寄贈または官公庁等の公的機関からの寄贈を受け入れる場合は、寄贈申込書を省略することができる。

ウ 寄贈資料の受領

当館が資料を受領した後、寄贈者に対し別に定める受領書を送付するものとする。上記の規定にかかわらず、公的機関からの寄贈または、寄贈者が受領書不要の意思表示をしている場合は、送付を省略することができる。

④寄贈資料の受け入れは、資料選定委員会において決定するものとする。なお、③アの手続き

を経ることなく送付された資料で受け入れしない資料については、一定期間保管後に廃棄する。

(リクエスト)

1 1. 利用者からのリクエストは当館の蔵書構成への意見として受け、選択基準に適合し、かつ蔵書構築上必要な資料であれば、予算の範囲内で収集する。また、図書館員は、リクエストの内容から利用者が求める資料の動向の把握に努める。

(資料の更新)

1 2. 資料に著しい汚損、破損又は書き込み等があり、補修が不可能な場合は除籍することとし、当該資料が当館の蔵書構築において必要な資料である場合、同一資料もしくは代替となる類書を収集する。

(複本)

1 3. 当館では、特別に定めのある場合を除き、同一の資料（複本）は収集しない。ただし、以下に規定する場所に配架する資料については、利用者への細やかなサービスの提供と円滑な運用のため、複本を収集して配架することとする。

ア 食文化体験スペース

イ ものづくり体験スペース

ウ 石川県立自然史資料館コーナー

エ 本との出会いの窓

(基準の公開及び改訂)

1 4. 選択基準は公開することとし、資料の利用状況を踏まえ、時代の要求に応えるべく随時改訂する。

(その他)

1 5. この基準に定めるもののほか、当館の資料に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

この基準は、令和4年4月1日から施行する。

別表1ー1 郷土先哲人物リスト(哲学者・宗教家・文学者等)

番号	人物名
1	暁烏敏
2	泉鏡花
3	泉斜汀
4	五木寛之
5	奥野他見男
6	尾山篤二郎
7	桐生悠々
8	黒本(植)稼堂
9	国府犀東
10	島田清次郎
11	杉森久英
12	鈴木大拙
13	高光大船
14	谷口吉郎
15	徳田秋声
16	戸田城聖
17	戸部新十郎
18	中西梧堂
19	中谷宇吉郎
20	西田幾多郎
21	西谷啓治
22	深田久弥
23	藤岡作太郎
24	藤沢清造
25	藤原鉄乗
26	毎田周一
27	三宅雪嶺
28	室生犀星

別表1ー2 収集部数一覧

区分	形態	内容	禁帯出	貸出可	資料の例	備考
(1)郷土資料	図書	郷土に関する地域の歴史・地理・自然・産業・文化に関する資料	2	1	「石川県史」「歴史の道調査報告書」(石川県教育委員会)「兼六園全史」「旧東のくるわ」	行政機関で発行している「旧東のくるわ」や「金沢城史料叢書」(石川県金沢城調査研究所)等歴史的事柄に関する資料は石川県行政資料とせず郷土資料とする。
		郷土に関する地域に伝来する民話・伝説・言葉・風俗・風習に関する資料	2	1	「日本遺産能登のキリコ祭り」「能登鳥屋町の昔話伝説集」	民話や伝説に関する資料は1部、児童図書(研究書)とすることもある。
		郷土人の伝記	2	1	「雪と氷の科学者・中谷宇吉郎」	
		校下史	2	1	「押野・その歩みと流れ 押野、三和、西南部校下の歴史」「十一屋校下史誌」「小立野校下の歴史」	
		社史	1	1	「倉庫精練史」「Ogawa Design Office 30年の歩み」	
		公民館史(誌)	1	1	「浅野町公民館創立50周年記念誌」「小立野公民館創立50周年記念誌」	校下史が含まれるものは禁帯2部とする。
		学校史(誌)	2	×	「金沢三中・桜丘高校五十年史」「小松工業高校十五年史」	石川県学校資料とせず、郷土資料とする。個人情報保護法施行後、寄贈された個人情報 that 特定できないような学校誌は、1冊貸出し・1冊禁帯出
		郷土人の歌集・句集・詩集	×	1	「岩田記未子歌集」	郷土人の歌集は自費出版(値段が付いていても)が多いため郷土資料とする。
		団体史	1	1	「宮竹用水土地改良区創立50周年記念誌」「金沢工事事務所治水事業のあゆみ」	
		郷土の芸術家の作品集とその作品論	1	1	「奥田憲三」「談議所栄二」「前田昌彦」「由水十久」	
		年報・事業報告	1	×	「一年の歩み 第28号(令和2年度)」(小松市公民館連合会) 「歩 令和2年度 活動をふりかえって」(白山市立笠間公民館)	
		要覧・年鑑	1	1	「北陸三県会社要覧」「石川野鳥年鑑」(日本野鳥の会石川)	「尾口村文化財要覧」行政機関で発行しているものでも「文化財」の一覧などは郷土資料とする。
		発掘調査報告書	1	1	「重要文化財矢田野エジリ古墳出土埴輪の世界」「能美市西任田遺跡、中ノ庄遺跡」	
		郷土出版物(内容が郷土に関係ない)	×	1	「家庭で役立つ10代子育てのヒント」	内容が郷土に関係ないものも県内出版文化を知り、後世に残すため貸出可能として郷土資料とする。
	パンフレット・リーフレット	地域の地誌・伝来する事柄・伝記	1	×	「金沢古地図めぐり」「中能登町繊維のあゆみ」	
	逐次刊行物	郷土雑誌・ニューズレター	1	×	「イミタチオ」「志多民」「新歌人」「石川県立図書館報」「れきはく」	美術館・博物館等一般に開放している施設のニューズレターを含む。
		紀要・研究会雑誌・学会誌	2	×	「石川県立美術館紀要」「石川郷土史学会誌」「泉鏡花研究」「北陸都市史学会誌」	
	地図・観光ガイドブック	地図・海図	1	×		定期的に購入
		住宅明細図	1	×	「ゼンリン住宅地図」	毎年購入
		都市地図・道路地図	2	×		定期的に購入。1部は一般書としてシリーズ整理。
		観光ガイドブック	1	1※	「るるぶ金沢能登加賀温泉郷」	※隔年
(2)郷土先哲著作	図書・パンフレット	別表1の人物の著作(哲学者・宗教家・文学者等)	×	1	「西田幾多郎全集」「徳田秋声全集」「中谷宇吉郎作品集」	
		別表1の人物の著作に関する思想論・作品論	×	1	「善とは何か 西田幾多郎『善の研究』講義」「泉鏡花作品研究 同時代背景の注釈的検討を通して」	

区分	形態	内容	禁帯出	貸出可	資料の例	備考
(3)石川県行政資料	図書・パンフレット・リーフレット	計画書・予算書・決算書・要覧・事業報告(年報)・会議録	1	×	「石川県ギャンブル等依存症対策推進計画」「予算説明書」「宝達志水町図書館要覧」「金沢城調査研究所年報」「[石川県立生涯学習センター]事業報告書」「金沢市議会会議録	各県内行政機関の要覧・年報・事業報告書を含む。 電子データであるものは、電子データ・紙媒体と各1部ずつ
		統計・調査報告書・白書	1	1	「石川県統計書」「石川県市町勢要覧」「北陸農林水産統計年報」「石川県学校基本調査」「石川県環境白書」	
		公報・広報	1	×	「石川県公報」「松任市土地改良だより」	美術館・博物館等一般に開放している施設のニューズレターは郷土雑誌とする。
	逐次刊行物	ニューズレター		×		
	逐次刊行物	月報・速報	1	×	「石川県農業気象速報」「金沢市中央卸売市場(月報)」	美術館・博物館等一般に開放している施設のニューズレターは郷土雑誌とする。
(4)石川県学校資料	図書・パンフレット・リーフレット	要覧	1	×	「(石川県立工業学校)要覧」	
		学校案内		×	「(石川県立工業学校)案内」	
	逐次刊行物	紀要	1	×	「哲学・人間学論叢」	

地域資料は、入手方法が寄贈によるものが多く、寄贈者の意向によるところが大きいため、収集部数はあくまで目安とする。購入で収集できるものは、保存部数に沿うものとする。また、すでに保存・登録されている遡及の資料の保存部数はこの表によらない。

別紙1ー3 石川県に関係のある地域・人物・物事・信仰など重点的に収集する一般資料のテーマ

種別	項目	キーワード例
地理的事項	県境	白山、医王山、石動山、倶利伽羅峠
	姉妹都市	江蘇省、全羅北道、イルクーツク州
歴史的事項	白山信仰	白山信仰、泰澄、修験道
	北陸道(古代)	北陸道
	一向一揆	一向一揆、蓮如、吉崎御坊
	加賀藩	荒子(名古屋市)、七日市藩(群馬県富岡市)、加賀藩邸(文京区)、加賀藩下屋敷(板橋区)
	金沢城	高山右近、穴生衆、石垣
	北国街道	北国街道、加賀藩本陣、参勤交代
	北前船	北前船、寄港地、海運、買積船、場所請負制
	北海道移民	北海道移民、前田村、屯田兵
	ブラジル移民	ブラジル移民
郷土人物関連	鈴木大拙	松ヶ岡文庫、東慶寺
	高峰譲吉	サンフランシスコゴールデンゲート公園
	中谷宇吉郎	雪の結晶
	深田久弥	日本百名山
	中田邦造	蔵書疎開
当館コレクション関連	アトラスヌーボー、医範提綱内象銅板図	江戸時代の洋学
	田中文庫・関口文庫	和算
	村松文庫さく葉帖	江戸時代の本草学
	金沢十九枚御絵図、金沢測量図籍	江戸時代の測量
	月明文庫	俳諧

別表2 里の恵み・文化の香り～石川コレクション～に関するキーワード

項 目		キーワード(件名)の例示
里山里海	総論	里山、里海、里地、生物文化多様性、生態系、地球サミット、せCOP10、愛知目標、愛知ターゲット、SDGs、名古屋議定書、里山イニシアティブ、IPSI、ミレニアム生態系評価
	生物総論	希少種、外来種、絶滅、レッドデータ、レッドリスト、渡り鳥、高山植物、ビオトープ、獣害、狩猟、またぎ、坂網猟、野生復帰、域外保全、種の保存、植物生態、食物連鎖、キーストーン種、恐竜、進化
	生物	ニホンオオカミ、ニホンカワウソ、トキ、ライチョウ、ハヤブサ、チョウサギ、イヌワシ、クマタカ、オオタカ、コアジサシ、コウノトリ、ギフチョウ、ホタル、シャープゲンゴロウモドキ、マルコガタノゲンゴロウ、イカリモンハンミョウ、アベサンショウウオ、ミシシッピアカミミガメ(ミドリガメ)、ホクリクサンショウウオ、ホトケドジョウ、メダカ、トミヨ、タナゴ、キリシマツツジ、ササユリ、オオムラサキ、ホテイアツモリ、クロユリ、カタクリ、ハクサン、オオキンケイギク、モウソウチク
	地理	千里浜、ジオパーク、緑の回廊、手取川、舳倉島、ブナ林、片野鴨池、二次林、エコパーク、湿地、ラムサール条約
	気候	気候変動、豪雪地帯、UNFCCC、IPCC、地球温暖化、京都議定書
	農林業	能登野菜、加賀野菜、焼畑、棚田、千枚田、常畑、はぎ干し、冬水田んぼ、冬季湛水、谷津田、谷内田、原木シイタケ、環境保全型農業、世界農業遺産、GIAHS、森林環境税、耕作放棄、六次産業化、薪炭林、竹林
	漁業	牡蠣、海鼠、海藻、海女、ボラ待ち、藻場、アワビ、アカモク、シロウオ
	食品	干し柿、発酵食品、日本酒、いしる、いしり、かぶらずし、巻鰯、能登牛、和牛
	伝統技術	塩田、製塩、製炭、炭焼、養蚕
	祭り・文化	あえのこと、虫送り、アママハギ、起船、キリコ、白山信仰、でくまわし、かんこ踊り、報恩講、七尾和ろうそく、日本遺産、曳山、山車
	景観	間垣、出作り、白峰集落、合掌集落、合掌造り、グリーンツーリズム、エコツーリズム、スローツーリズム、茅葺、ダム(県内)、港湾(県内)、漁港(県内)
伝統文化	街並	城下町、町並み、屋敷、町屋、武家屋敷、歴史建築、茶屋、茶、茶庭、庭園、雪吊り、造園、兼六園
	食	伝統料理、加賀料理、和食器、和菓子、食文化、和食、懐石料理、作法、器、発酵、日本酒、清酒、伝統野菜、加賀野菜
	工芸全般	図案、伝統工芸、漆器、陶器、染織、生業、地場産業
	陶磁器	九谷焼、大樋焼、珠洲焼、陶磁工芸、陶器、陶磁器、
	漆工芸	輪島塗、金沢漆器、蒔絵、漆工芸、漆芸、漆器、螺鈿
	着物	着物、和服、友禅、染織、染色、織物、加賀友禅、牛首紬、手捺染型彫刻
	工芸その他	日本刺繍、加賀繍、和紙、二俣和紙、水引細工、加賀水引細工、和傘、金沢和傘、提灯、加賀提灯、花火、能登花火、ろうそく、七尾和ろうそく、獅子頭、加賀獅子頭、獅子舞、加賀人形、郷土玩具、八幡起上り、桐工芸、木竹工芸、木工、檜細工、竹細工、仏壇、金沢仏壇、美川仏壇、七尾仏壇、加賀竿、釣竿、毛針、加賀毛針、表具、金沢表具、金箔、金沢箔、象嵌、加賀象嵌、茶釜、茶の湯、刃物、鶴来内刃物、銅鑪
	芸能	楽器、邦楽、謡曲、琴、三弦、三味線、太鼓、芸妓、芸者、茶屋(花街・遊郭)、能楽、謡本、狂言、加賀宝生、歌舞伎、茶道、華道、書道

別表3 日本十進分類法に基づくもの

NDC分類			特記事項
類目	綱目	要目・細目	
0 総記			
	00 総記	002 知識、学問、学術	・各国の学術事情および知的協力に関する一般書については、時代を反映した資料を選択的に収集する。 ・英語論文の資料については、代表的・歴史的な資料を選択的に収集する。
		007 情報科学	・情報リテラシに関する資料は、実務書から一般書まで最新の情報を包括的に収集する。 ・サイバーセキュリティに関する資料は、実用書、教養的な一般書、入門的な学術書を、最新の情報に留意しながら積極的に収集する。 ・定着が認められる新しいICT技術に関する資料については、実用書、教養的な一般書を、話題性にも留意しながら積極的に収集する。 ・ICT関連の技術革新に関する資料については、時代を反映した教養的な一般書をまで選択的に収集する。 ・広く一般に利用されているOS、ソフトウェア、アプリケーション等に関する資料については、最新の情報を反映した実務書を選択的に収集する。なお、利用者層が偏向しないよう留意する。 ・プログラミングに関する資料については、実用書及び教養的な一般書を積極的に収集する。
	01 図書館・図書館学		・図書館学に関する資料全般について、一般書及び学術書を積極的に収集する。 ・石川県内の図書館で課題になっている事項に関する最新の情報を反映した資料を積極的に収集する。
	02 図書・書誌学		・出版、書誌学、検閲に関する資料については、教養的な一般書及び入門的な学術書を包括的に収集する。 ・出版関連の資料のうち、過去に発行された資料の復刻書は選択的に収集する。
	03 百科事典		
	04 一般論文集・一般講演集		・代表的、歴史的な資料は限定的に収集する。 ・雑著については、類書に留意して限定的に収集する。
	05 逐次刊行物		
	06 団体		
	07 ジャーナリズム		・情報の活用に関する資料のうち、評価の定まったものを限定的に収集する。
	08 叢書・全集・選集		・全集収録作品は、類書に留意して選択的に収集する
	09 貴重書・行政資料・その他の特別コレクション		

NDC分類			特記事項
類目	綱目	要目・細目	
1 哲学			
	10 哲学		・全集・著作集は積極的に収集する。
	11 哲学各論		・現代的なテーマを扱った一般書を積極的に収集する。
	12 東洋思想		・現代の思想家の著書は、多様性を重視して積極的に収集する。
		121 日本思想	・古典作品は新訳に配慮して、積極的に収集する。 ・京都学派に属する思想家に関する学術書・一般書は積極的に収集する。
	13 西洋思想		・現代の思想家の著書は、多様性を重視して積極的に収集する。 ・古典作品は新訳に配慮して、積極的に収集する。
	14 心理学		・医学的な実務書は、エビデンスのはっきりしたものを選択的に収集する。内容の鮮度にも留意する。 ・娯楽的な一般書は、ビジネスパーソンやヤングアダルト向けのものを中心に、話題になったものを限定的に収集する。 ・超心理学に関する一般書は、特に話題になったもの、読み継がれるものを限定的に収集する。
	15 倫理学・道徳		・古典作品は新訳に配慮して、積極的に収集する。 ・自己啓発書等、娯楽的な一般書は、ビジネスパーソンやヤングアダルト向けのものを中心に、話題になったもの、読み継がれるものを限定的に収集する。
	16 宗教		・歴史資料集等は、複製版・復刻版を避けて、積極的に収集する。 ・新興宗教に関するものは、宗派のバランスに留意し、概説的なものを限定的に収集する。 ・白山新興に関するものは包括的に収集する。 ・娯楽的な一般書は、特に話題になったもの、読み継がれるものを限定的に収集する。
	17 神道		・歴史資料集等は、複製版・復刻版を避けて、積極的に収集する。 ・全国の神社のガイドブックは、選択的に収集する。 ・娯楽的な一般書は、特に話題になったもの、読み継がれるものを限定的に収集する。
	18 仏教		・仏典・経典歴史資料集等は、複製版・復刻版を避けて、積極的に収集する。 ・浄土真宗に関する資料は積極的に収集する。 ・全国の寺院のガイドブックは、選択的に収集する。 ・娯楽的な一般書は、話題になったもの、読み継がれるものを限定的に収集する。
	19 キリスト教		・キリシタンに関するものは、積極的に収集する。 ・全国の教会のガイドブックは、選択的に収集する。 ・娯楽的な一般書は、話題になったもの、読み継がれるものを限定的に収集する。

NDC分類			特記事項
類目	綱目	要目・細目	
2 歴史			・娯楽的な一般書は客観性に基づいて書かれているかなど内容に留意して選択的に収集する。 ・学術書は客観的資料に基づいた学術的研究を中心に、特定の歴史観や学説に偏らないように留意し、選択的に収集する。 ・史料集は利用傾向に留意し、復刻、複製版等は避け、積極的に収集する。 ・外国に関する資料は、日本及び石川県との関係性に考慮し関係の深い国の資料は積極的に収集する。また、環日本海の歴史に関する資料も積極的に収集する。それ以外のものは選択的に収集するが、出版点数の少ない国のものは積極的に収集する。
	20 歴史		・特定の歴史観に偏らず、娯楽的な一般書から専門的な学術書までの代表的なものを積極的に収集する。
		209 世界史	・評価の定まった娯楽的な一般書から専門的な学術書までを選択的に収集する。
	21 日本史		・娯楽的な一般書から専門的な学術書までを選択的に収集する。特に娯楽的な一般書は、客観性に基づいて書かれているかなど内容に留意する。 ・史料集は利用傾向に留意し、復刻、複製版等は避け、積極的に収集する。
		210. 考古学 025	・最新の発掘成果に留意し、特定の学説、歴史観に偏らないように選択的に収集する。
		210. 古文書学. 花押 029	・基本的な辞典、解説に役立つ例文集を中心に、選択的に収集する。
		210. 通史 1	・客観的な資料に基づいた内容のものを中心に、特定の歴史観や学説に偏らないように留意し、積極的に収集する。
		210. 時代史 2～ 210. 7	・客観的な資料に基づいた内容のものを中心に、特定の歴史観や学説に偏らないように留意し、選択的に収集する。
		211/ 各地 219	・北陸以外の地域については、偏りがないように留意し、選択的に収集する。また、都道府県の自治体史は網羅的に収集する。その他の自治体史は主要なもの、石川県と関連の深いものを選択的に収集する。
	22 アジア史. 東洋史		客観的資料に基づいた内容のものを中心に、特定の歴史観や学説に偏らないように留意し、積極的に収集する。
	23 ヨーロッパ 史. 西洋史		客観的資料に基づいた内容のものを中心に、特定の歴史観や学説に偏らないように留意し、選択的に収集する。
	24 アフリカ史		出版状況に留意し、積極的に収集する。
	25 北アメリカ史		客観的資料に基づいた内容のものを中心に、特定の歴史観や学説に偏らないように留意し、選択的に収集する。
	26 南アメリカ史		出版状況に留意し、積極的に収集する。
	27 オセアニア 史. 両極地 方史		出版状況に留意し、積極的に収集する。

28 伝記		・歴史的評価の定まった人物の伝記は積極的に収集する。 ・ビジネスパーソンへの伝記は特定の人物に偏らないように選択的に収集する。 ・時事性、話題性の高い人物については、社会的評価を吟味し、選択的に収集する。 ・著名人以外の自分史は、記録的資料として価値の高いもの、調査の参考になるものを限定的に収集する。
	288 系譜・家史・皇室	客観的資料に基づいたもの、記録的資料として価値の高いもの、調査の参考となるものを選択的に収集する。
	29 地理・地誌・紀行	・娯楽的な一般書は、話題性のあるものを内容を吟味し、選択的に収集する。 ・専門的な学術書は利用傾向を鑑みて、選択的に収集する。
	290. 地図 38	・地図帳は基本的なものを積極的に収集し、一定のサイクルで更新する。 ・一枚ものの地図は地形図、地質図を積極的に収集する。 ・日本の道路地図は一定のサイクルで更新する。 ・外国の地図は、利用者のニーズと照らし合わせ、利用の多い地域のものを選択的に収集する。 ・海図は北陸沿岸を中心に、主な地域のものを選択的に収集する。
	290. 写真集 87	・ガイドブックとは違う視点での観光案内として代表的なものを選択して収集する。
	291/ 各国・各地域の 297 地理・地誌・紀行	・日本及び石川県との関係性を考慮しつつ、娯楽的な一般書から専門的な学術書を積極的に収集する。 ・日本各地域及び外国のガイドブックは、利用の高いものを選択的に収集する。また、一定のサイクルで更新する。

NDC分類			特記事項
類目	綱目	要目・細目	
3 社会科学			
	30 社会科学	302 政治・経済・社会・文化事情	・話題になっている資料、新しい資料を選択的に収集する。
		304 社会評論	・時代を代表する評論、話題になった評論は包括的に収集する。(書評にとりあげられたもの、論争を喚起したもの、評価の高い著者の評論等) ・発行部数が膨大、かつ偏った主張による発行も多い分類であることに留意する。
		308 叢書・全集・講座	有名な著作が復刻されることが多いため、自館コレクションの内容、資料の状態に留意して収集する。
		309 社会思想	・時代を代表する資料および話題になっている資料は、積極的に収集する。 ・最新の思想・学説の動向に留意する。
	31 政治	310.4 政治論	多様な観点の資料を選択的に収集する。
		311 政治学、政治思想	普遍的な資料については、コレクションおよび蔵書の状態に留意して選択的に収集する。
		312 政治事情・政治史	・時事性、話題性のある資料を中心に限定的に収集する。 ・多様な観点のものを収集するよう留意する。
		313 天皇制	・関心の高い主題なので、多様な観点から積極的に収集する。
		314 議会	国会、地方議会、選挙について理解が進むよう、基本的な資料、実務書、一般書、学術書を選択的に収集する。 ・投票に影響する時事性、話題性のある事象に留意する。
		315 政党・政治団体	・日本の政党、政治団体に関する資料を選択的に収集する。 ・世界の政党、政治団体については、限定的に収集する。 ・政党機関誌を収集する。
		317 行政	・行政改革の資料は、多様な観点から、積極的に収集する。 ・国家公務員試験、国家資格に関する資料は限定的に収集する。ただし問題集は収集しない。
		318 地方自治	・「行政支援」のため、地方自治の諸問題(「地方分権」「地方行革」「地方財政」「地方自治」等)について積極的に収集する。
	32 法律	320 法律	・法令集・判例集は、限定的に収集し、各種データベースの利用を推進する。 ・必要な講座・叢書は、限定的に収集する。
		323 憲法	・関心の高い分野だが、発行部数も多いため、教養的な一般書・概説書・学術書を選択的に収集する。 ・基本的人権、憲法九条、天皇制、憲法改正など、論争のある主題については、多様な観点の資料を選択的に収集する。
		323.9 行政法	・行政支援、また県民の利用のため、専門的な学術書、専門的な実務書、教養的な一般書、実用書を選択的に収集する。
		324 民法	・県民生活と深く関わり、関心の高い分野である。ただし、発行部数も多く改定も頻繁に行われるため、実用書・教養的な一般書を中心に限定的に収集する。 ・契約法、親族法、相続法は実用的な資料を揃えるよう留意する(「道路・境界のトラブル」「遺言」「財産相続」「離婚」「借地・借家」「家賃・立退料」等) ・外国による日本の土地の買い占めなど、今後顕在化が予想される問題は、選択的に収集する。
		326 刑法・刑事法	・多様な観点、学説の資料を教養的な一般書に留意し、限定的に収集する。 ・刑法改正、死刑廃止、冤罪など、時事性、話題性のある資料は積極的に収集する。
		326.2 犯罪	・社会的関心を集め、刑法改正のきっかけとなった犯罪について書かれた資料は、多様な観点の資料を包括的に収集する。 ・犯罪者心理、犯罪手口、防犯など、安全安心な社会実現

	327	司法、訴訟	人権擁護、訴訟記録、少年法など、社会的関心の高いテーマについては、評価の定まった資料を包括的に収集する。
	329	国際法	・東京裁判、戦争責任については、外交に深く関わる分野のため、多様な観点のものを選択的に収集する。 ・海岸線が長い、東西に伸びている、他国に比較的近いという石川県の地理的特色を踏まえ、海洋法、国際領域、拉致被害者、出入国等についての資料を選択的に収集する。 ・国際機関についての資料は選択的に収集する。
33 経済	331	経済学、経済思想	・理解が進むよう、入門書、概説書、研究書、原典などを体系だてて、限定的に収集する。 ・経済学は、様々な学説と主張が抗争している分野なので、多様な観点に立つ資料を収集する。 ・新しい経済学の動向に留意する。
	332	経済史・事情	・日本および世界の経済史・経済事情を知るための資料を選択的に収集する。 ・日本経済の現状、動向、未来予測についての最新の資料に留意する。 ・海外事情は日本との関係、親近性に留意し、限定的に収集する。
	333	経済政策・国際経済	・経済援助、経済協力、南北問題など、国際関係を考える際に役立つ資料を限定的に収集する。
	334	人口、土地、資源	・移民、土地行政、資源行政など、今後顕在化が予想される問題に留意する。 ・基礎的データの資料に留意する。
	335	企業・経営	・中小企業主、自営業者のための入門書、実用書は積極的に収集する。 ・最新の経営動向、経営手法に留意する。 ・海外でのビジネス展開に役立つ資料を積極的に収集する。
	336	経営管理	・発行が非常に多い分野のため、学術的根拠に基づいたものを限定的に収集する。
	337	貨幣	・趣味・娯楽に役立つ資料に留意する。 ・生活に関連が深いテーマを選択的に収集する。（「物価問題」「インフレ・デフレ」など）
	338	金融	・金融のグローバル化など最新の動向に留意する。 ・利殖、株式投資は、学術的根拠に基づいた資料を限定的に収集する。
	339	保険	・「生命保険」「損害保険」「自動車保険」に関する最新の実用書を収集するよう留意する。
	340	財政	・国および地方の財政危機、財政改革は社会的関心が高いため、時事性、話題性のある資料について留意する。
34 財政	343	財政政策、財政行政	・石川県と関わりの深い国の政策については、積極的に収集する。
	345	税金	・中小企業診断士などの実務に関わる利用者に役立つ実務書、理論書等を定期的に購入、買替を行う。 ・節税、ふるさと納税など、利用者の関心の高い資料は積極的に収集する。 ・今後の税制のあり方について書かれた資料に留意する。
	349	地方財政	・行政支援に役立つ資料は積極的に収集する。 ・地方交付税、地方財政策、都道府県・市町村民税等、石川県とかかわりの深いテーマは積極的に収集する。
35 統計	350	統計	・基本的な統計類を限定的に選択し、継続して収集する。 ・必要な情報にたどりつくためのレファレンスツールに留意する。 ・統計は印刷媒体から電子媒体に移行しつつある。電子媒体(各種のデータベースや電子図書等)を積極的に活用する。

36 社会		・教養的な一般書、実務書、入門的な学術書を積極的に収集する。 ・専門的な学術書は、研究動向や社会情勢に留意しながら選択的に収集する。 ・多様な観点に立つ資料を収集するように留意する。 ・法律や制度の改変に留意し、随時更新する。 ・「新型コロナウイルス感染症」のような社会的影響の大きい事象については「テレワーク」や「ソーシャルディスタンス」「クラウドファンディング」といった関連テーマとあわせ、積極的に収集する。
	361 社会学	・国民性、コミュニケーション、人間関係等を扱った資料は話題性や客観性を考慮し、選択的に収集する。
	366 労働経済・労働問題	・実務担当者にも参考になるような教養的な一般書・実用書を積極的に収集する。
	367 家族問題・男性・女性問題・老人問題	・現代の課題に留意(いじめ・不登校・ひきこもり・高齢化社会・LGBTなど)して、教養的な一般書、実用書を積極的に収集する。
	369 社会福祉	・実務担当者や支援者にも参考になるような入門書、教養的な一般書、実用書を積極的に収集する。 ・入門的な学術書は限定的に収集する。
37 教育		・一般県民から教育関係者まで役立つ資料を幅広く積極的に収集する。 ・教育に関する評論、エッセイは著者、出版者の実績を考慮し、選択的に収集する。 ・教職員向けの実用書は、限定的に収集する。 ・受験指南書、学習参考書、受験問題集、客観性に乏しいもの、科学的な根拠に欠ける子育て論は原則として収集しない。 ・教科書および副読本は原則として収集しない。ただし、復刻版等研究用資料として刊行されたものは積極的に収集する。また、学校図書館支援サービスを実施するために必要だと判断された教科書は限定的に収集する。 ・最新の教育政策、学習指導要領の改正等に留意し、随時更新する。
	370.8 教育	・全集・著作集は積極的に収集する。
	372 教育史・事情	・北陸地方の教育史・教育事情に関する資料は包括的に収集する。
	377 大学・高等・専門教育・学術行政	・北陸地方の大学史は、包括的に収集する。 ・就職や留学に関する実用書は、ヤングアダルトサービスとの関連に考慮して選択的に収集し、随時更新する。
	378 障害児教育(特別支援教育)	・当事者の家族が参考にできるような実用書は、積極的に収集する。 ・学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)など、最近の動向にも留意する。 ・主題に偏りがなく、また、特定の思想や視点のものに偏らないように留意する。
	379 社会教育	・県民の社会教育活動の参考となる資料を積極的に収集する
	379.9 家庭教育	・家庭教育に関する資料は、話題性や客観性を考慮し、選択的に収集する。
38 風俗習慣・民俗学・民族学		・学術書は最新の研究動向に留意しながら、選択的に収集する。 ・北陸地方に関する資料は包括的に収集する。
	385 通過儀礼・冠婚葬祭	・冠婚葬祭に関する資料や時代に即した実用書を積極的に収集する。
	388 伝説・民話[昔話]	・伝説、民話、昔話は児童図書研究書との兼ね合いに留意し、積極的に収集する。
39 国防・軍事		・時事性、話題性に留意して多様な観点の資料を選択的に収集する。

NDC分類			特記事項
類目	綱目	要目・細目	
4 自然科学			・学術書は、該当分野の重要事項をおさえる入門的なものを積極的に収集する。 ・一般書は、話題性や新しい研究成果に留意して、娯楽的なものは選択的に、教養的なものは積極的に収集する。 ・実用書は、利用を考慮しながら、選択的に収集する。 ・問題集は収集しない。 ・石コレテーマについては、関連産業従事者の使用や、教育現場での使用に適しているものは、包括的に収集する。
	40 自然科学		
	41 数学	417 数理統計学	・実用書は、類書の有無に留意して、選択的に収集する。専門的な実務書については必要に応じて限定的に収集する。
	42 物理学	428 誘導体・半導体	・IT技術と関連が深いため、半導体に関する一般書は積極的に収集する。
	43 化学	432 実験化学	・入門書や平易な実用書については類書の有無に留意して、積極的に収集する。
	44 天文学・宇宙科学	441 未確認飛行物体	・UFOについては客観性に留意して、選択的に収集する。
		442 実地天文学 天体観測法	・最新の技術に留意して、選択的に収集する。
		449 時法 暦学	・類書の有無、話題性に留意して、選択的に収集する。
	45 地球科学・地学	451 気象学	・「地球温暖化」「気候変動」など、石コレに関連する主題は、積極的に収集する。
		452 海洋学	・「海洋学」「水資源」「海洋生物」「湿地」など、石コレに関連する主題は、積極的に収集する。 ・「日本海」を中心にしつつも、比較のため世界各地の事例を収集する。
		457 古生物学・化石	・「恐竜」「古生物」など、生物の進化や絶滅に関連する主題は、石コレとして積極的に収集する。
	46 生物科学・一般生物学	461 理論生物学・生命論	・「生命の起源」「進化」など、石コレに関連する主題は、積極的に収集する。
		462 生物地理・生物誌	・「石川県」「里山」に関するものは、網羅的に収集する。 ・「世界自然遺産」「エコパーク・ジオパーク」「天然記念物」に登録されている地域に関するものは、包括的に収集する。 ・「絶滅危惧種」「生物多様性」に関するものは、包括的に収集する。
		465 微生物学	・「発酵」など、石コレに関連する主題は、積極的に収集する。
		467 遺伝学	・「進化論」「遺伝資源」など、石コレに関連する主題は、積極的に収集する。
		468 生態学	・「石川県」「里山」に関するものは、網羅的に収集する。 ・「生態系」「生物多様性」など、石コレに関連する主題は、積極的に収集する。
	47 植物学	470 植物学	・石コレとの関連が深い主題のため、専門的なものを除き包括的に収集する。 ・「絶滅危惧種」「生物多様性」に関するものは、包括的に収集する。
		471 一般植物学	・基本的な資料、入門書、概説書は、石コレとの関連が深いため、包括的に収集する。
		472 植物地理・植物誌	・「石川県」「里山」に関するものは、網羅的に収集する。 ・「世界自然遺産」「エコパーク・ジオパーク」「天然記念物」に登録されている地域に関するものは、包括的に収集する。
		473 葉状植物	・主題となる生物の多様性に留意し、専門的なものを除き包括的に収集する。

48 動物学	474 藻類・菌類	・主題となる生物の多様性に留意し、専門的なものを除き包括的に収集する。
	475 コケ植物	・主題となる生物の多様性に留意し、専門的なものを除き包括的に収集する。
	476 シダ植物	・主題となる生物の多様性に留意し、専門的なものを除き包括的に収集する。
	478 裸子植物	・「石川県」「里山」に関するものは、網羅的に収集する。
	479 被子植物	・「石川県」「里山」に関するものは、網羅的に収集する。
	480 動物学	・石コレとの関連が深い主題のため、専門的なものを除き包括的に収集する。 ・「絶滅危惧種」「生物多様性」に関するものは、包括的に収集する。
	481 一般動物学	・基本的な資料、入門書、概説書は、石コレとの関連が深いいため、包括的に収集する。
	482 動物地理・動物誌	・「石川県」「里山」に関するものは、網羅的に収集する。 ・「世界自然遺産」「エコパーク・ジオパーク」「天然記念物」に登録されている地域に関するものは、包括的に収集する。 ・「絶滅危惧種」「生物多様性」に関するものは、包括的に収集する。
	483 無脊椎動物	・主題となる生物の多様性に留意し、専門的なものを除き包括的に収集する。
	484 軟体動物	・主題となる生物の多様性に留意し、専門的なものを除き包括的に収集する。
	485 節足動物	・主題となる生物の多様性に留意し、専門的なものを除き包括的に収集する。
	486 昆虫類	・石コレと関連が深い主題だが、一般書は類書が多いため、最新の情報や話題性に留意して収集する。 ・「絶滅危惧種」「生物多様性」に関するものは、包括的に収集する。
	487 脊椎動物	・主題となる生物の多様性に留意し、専門的なものを除き包括的に収集する。
	488 鳥類	・石コレと関連が深い主題だが、一般書は類書が多いため、最新の情報や話題性に留意して収集する。 ・「絶滅危惧種」「生物多様性」に関するものは、包括的に収集する。
	489 哺乳類	・「絶滅危惧種」「生物多様性」に関するものは、包括的に収集する。
49 医学		・参考図書(用語事典、薬名事典などのレファレンスブック)は、一般に利用される代表的なものを積極的に収集する ・医師や医学生対象の参考書は収集しない ・医師や医学生、研究者対象の専門書は収集しないが、わかりやすく病気や治療の理解に役立つものは限定的に収集する ・医療情報(疾患に関するもの・法律・制度に関するもの)は、5年をめぐりに更新・除籍基準を設ける。
	490 医学	・入門的な学術書、教養的な一般書を中心に積極的に収集する ・看護学の入門的な学術書を積極的に収集する(医師や医学生を対象とした専門的な学術書は限定的に収集する。特に市町図書館の所蔵が無いものに留意する) ・漢方、東洋医学に関する資料は、客観性、科学性に留意して選択的に収集する ・病院、ホスピスに関する資料は、客観性があるものを精査し、限定的に収集する ・特定の医師や病院についての資料は客観性に留意し、また話題性も考慮して選択的に収集する ・安楽死に関する資料は、客観性、科学性に基づくものを精査し、限定的に収集する ・医療倫理に関する資料は 専門家の監修したもの、客観性、科学性に基づくものを選択的に収集する

	491 基礎医学	・入門的な学術書、教養的な一般書を中心に積極的に収集する ・看護学の入門的な学術書を選択的に収集する(医師や医学生を対象とした専門的な学術書は限定的に収集する。特に市町図書館の所蔵が無いものに留意する)
	492 臨床医学 診断・診療	・入門的な学術書、教養的な一般書を中心に積極的に収集する ・看護学の入門的な学術書を選択的に収集する(医師や医学生を対象とした専門的な学術書は限定的に収集する。特に市町図書館の所蔵が無いものに留意する) ・病気や薬、治療に関する実用書は積極的に収集する ・民間療法・健康法、民間薬に関する資料は客観性、科学性に留意し、限定的に収集する ・病院、ホスピスについての資料は客観性があるものを精査し、限定的に収集する
	493 内科学 ～ 精神医学 497 小児科学 外科学 皮膚科学 泌尿器科学 婦人科学 産科学 眼科学 耳鼻咽喉科学 歯科学	・病気や薬、治療に関する実用書は課題解決としての医療健康情報の観点から、実用書を包括的に収集する ・入門的な学術書、教養的な一般書を中心に積極的に収集する ・民間療法・健康法に関する資料は客観性、科学性に留意し、限定的に収集する ・特定の医師や病院についての資料は選択的に収集する ・特定の食品をすすめる治療法を紹介した資料は、客観性、科学的根拠に留意し、限定的に収集する ・患者家族周囲の悩みや問題について取り上げた図書は、精査して選択的に収集する ・医療情報に関わるコミックエッセイは、患者やその周囲の人の気持ちを理解するための手段の一つとして、代表的なものを選択的に収集する ・病院、ホスピスについての図書は、客観性があるものを精査し、限定的に収集する ・安楽死を扱った資料は、客観性、科学性に基づくものを精査し、限定的に収集する ・医療制度に関する資料は、分かりやすく治療などに役立つものを選択的に収集する ・闘病記は、患者やその家族が病気の理解に役立つ資料や、症例が少ない病気に関する資料を選択的に収集する ・介護従事者、介護の知識を必要とする利用者にわかりやすい介護に関する資料を選択的に収集する
	498 衛生学 公衆衛生 法医学	・法令関係の資料はその制定、改廃に留意し、関連する資料は選択的に収集する。また、最新の情報を得ることができるようしておく ・入門的な学術書、教養的な一般書を中心に積極的に収集する ・医療制度に関する資料は、分かりやすく治療などに役立つものを選択的に収集する ・栄養学に関する資料は専門家の監修したもの、客観性、科学性に基づくものを積極的に収集する ・特定の食品をすすめる治療法を紹介した資料は客観性、科学的根拠に留意し、限定的に収集する ・民間療法・健康法は客観性、科学性に留意し、限定的に収集する ・安楽死を扱った資料は、客観性、科学性に基づくものを精査し、選択的に収集する
	499 薬学	・法令関係の資料はその制定、改廃に留意し、選択的に収集する。また、最新の情報を得ることができるようしておく ・民間薬に関する資料は客観性、科学性に留意し、限定的に収集する

NDC分類			特記事項
類目	綱目	要目・細目	
5 技術・工学			・デジタルファブリケーションに関する資料は積極的に収集する
	50 技術・工学		・新しい研究成果や技術、最新の法令に留意し、積極的に収集する ・高額の特許書については、利用者の要望のあるものを選択的に収集する
	51 建設工学・土木工学		・刊行点数の少ない主題は積極的に収集する ・高度な技術を扱う学術書は限定的に収集する
		519 公害・環境工学	・相反する意見や立場を偏りなく包括的に収集する ・シリーズ図書は包括的に収集する
	52 建築学		・文化財の保護・修復に関わる図書は包括的に収集する ・学術書・研究書は積極的に収集する ・建築物の写真集および著名な建築家の作品集は積極的に収集する ・実用書は選択的に収集する
	53 機械工学		・入門書・概説書・実用書を積極的に収集する
		538 航空宇宙工学	・最新の知見と同様に歴史的変遷にも留意して積極的に収集する ・話題性の高い分野であり、エッセイなども積極的に収集する ・入門書・概説書は選択的に収集する
		539 原子力工学	・原子力利用、原子力災害について、相反する意見や立場も偏りなく包括的に収集する ・最新の知見に留意して積極的に収集する ・航空工学に関する資料は、歴史的変遷にも留意して積極的に収集する ・話題性の高い分野であり、エッセイなども積極的に収集する
	54 電気工学		・新しい研究成果に留意して積極的に収集する ・入門書・実用書を積極的に収集する
		548 情報工学	・最新の知見に留意して積極的に収集する ・入門書・概説書・実用書は積極的に収集する ・ビジネスや産業との関わりに留意して積極的に収集する
		549 電子工学	・最新の知見に留意し、学術書は包括的に収集する ・入門書・概説書・実用書は積極的に収集する ・ビジネスや産業との関わりに留意して積極的に収集する
	55 海洋工学・船舶工学		・刊行点数の少ない主題は包括的に収集する ・入門書・概説書・実用書を積極的に収集する
		559 兵器・軍事工学	・最新の知見に留意して収集する ・入門書・概説書・実用書は積極的に収集する ・相反する意見や主張も偏りなく収集する
	56 金属工学・鉱山工学		・刊行点数の少ない主題は包括的に収集する ・入門書・概説書・実用書を積極的に収集する
	57 化学工業		・新しい研究成果に留意して収集する ・実用書は、エビデンスのはっきりしたものを積極的に収集する
	58 製造工業		・発酵についての資料は包括的に収集する ・新しい技術に留意して積極的に収集する ・食品などカタログ的な資料は限定的に収集する
	59 家政学・生活科学	59	・基本的な資料、入門書・教養的な一般書、実用書を選択的に収集する。 ・学術書は研究動向や社会情勢に留意しながら、限定的に収集する。 ・社会情勢の変化に留意し、随時更新する。
		593 衣服・縫製	・石川県の文化に関わる本(着物、刺繍など)は、積極的に収集する

	596 食品、料理	・北陸地方の郷土料理については包括的に収集する。 ・地域的に特徴のある料理について、国内外の代表的なものを選択的に収集する。
	599 育児	・入門書・教養的な一般書・実用書を積極的に収集する ・学術書は選択的に収集する ・科学的根拠に乏しいもの、客観性に欠けるものは収集しない。ただし、育児エッセイについてはエビデンスのないものも選択的に収集する。

NDC分類			特記事項
類目	綱目	要目・細目	
6 産業			・石川県を含む地方に関する図書は包括的に収集する ・里山里海コレクション該当図書は包括的に収集する ・産業の動向や側面、最新の法律について積極的に収集する ・特に第1次産業と自然科学分野と関わる主題は積極的に収集する
	60 産業		・実用書は北陸地方のものは包括的に収集する ・地域活性化、国土開発の分野は積極的に収集する ・6次産業に関する図書は積極的に収集する
	61 農業		・学術書や専門書は積極的に収集する ・農業遺産などの新しい主題は積極的に収集する ・農業経営に関する図書は選択的に収集する ・本県が力を入れる農産物に関する資料は積極的に収集する
	62 園芸		・県の伝統野菜などの主題は包括的に収集する ・実用書は類書のバランスを見ながら積極的に収集する
	63 蚕糸業		・歴史的資料は網羅的に収集する ・刊行頻度の少ない主題として、資料の種類や対象の地域を問わず包括的に収集する
	64 畜産業		・新しい研究成果や技術に留意して積極的に収集する ・能登牛に関する資料は積極的に収集する
		645 家畜・畜産動物各論	・愛玩動物の飼育法は、対象となる動物の種類に留意して選択的に収集する ・愛玩動物の写真集は限定的に収集する
		646 家禽各論・飼鳥	・愛玩動物の写真集は限定的に収集する
	65 林業		・山果、山菜、炭焼きなどのテーマは包括的に収集する
		654 森林保護	・国内外を問わず、森林保護の事例を積極的に収集する
		657 森林利用・林産物・木材学	・木材・木工に関する図書は積極的に収集する
	66 水産業		・海に面した県として漁業などの関連図書を積極的に収集する
		667 海産物	・蟹など地域特有の海産物は積極的に収集する ・地域の観光につながる主題は積極的に収集する
		669 製塩 塩業	・地域の観光につながる主題として積極的に収集する
	67 商業		・入門書・概説書を積極的に収集する
		675 マーケティング	・デジタル・マーケティングに関する資料は最新の動向に留意して積極的に収集する
	68 運輸・交通		・先進事例は積極的に収集する ・国内の他地域は当県とのつながりを見て選択的に収集する ・最新データに留意して選択的に収集する
		683 海運	・北前船関連は包括的に収集する
		686 鉄道	・車両のカタログ的資料は限定的に収集する
		689 観光事業	・当県の基幹産業として他地域も積極的に収集する ・遊園地・テーマパークなどの主題は期間を区切り限定的に収集する
			・新しい技術と歴史的変遷に留意して積極的に収集する
	69 通信事業	693 郵便・郵政事業	・郵便切手・はがき・スタンプなどの歴史的資料は積極的に収集する ・切手などのカタログ的資料は限定的に収集する
		694 電気通信事業	・通信の歴史的資料は包括的に収集する ・新しい研究成果や技術、最新の法令に留意し、積極的に収集する
		699 放送事業	・刊行頻度がそれほど高くない主題として、国内外を問わず積極的に収集する

NDC分類			特記事項
類目	綱目	要目・細目	
7 芸術・美術			・入門的な学術書、教養的な一般書、娯楽的な一般書、実用書は、積極的に収集する。 ・専門的な学術書、専門的な実務書は、評価の定まった出版者・著者のものから限定的に収集する。 ・ビジュアル要素の多い概説書(コレクション図録、展覧会図録など)は、積極的に収集する。また、日本画や工芸など、海外でもコレクションや展覧会が多い分野、石川県と関りの深い分野に関しては、海外の出版物からも選択的に収集する。 ・石川県と関りの深い分野については、収集の度合をさらに高める。
	70 芸術・美術	703 参考図書	・評価の定まった出版者・著者の資料は、積極的に収集する。
		708 叢書、全集、選集	・評価の定まった出版者・著者の資料は、積極的に収集する。
	71 彫刻		
	72 絵画	727 グラフィックデザイン、図案	・伝統工芸(陶磁、漆、染織)に関する図案は、包括的に収集する。
	73 版画		
	74 写真	742 写真器機、材料	・企業商品の宣伝に偏りそうな資料には留意する。
		743 撮影技術	・企業商品の宣伝に偏りそうな資料には留意する。
		748 写真集	・多くが写真で構成され、言語によるハードルが低いものは、海外の出版物(評価の定まった出版者・著者のもの)からも選択的に収集する。
	75 工芸	751 陶磁工芸	・娯楽的な一般書や実用書から入門的な学術書におけるまで、包括的に収集する。
		752 漆工芸	・娯楽的な一般書や実用書から入門的な学術書におけるまで、包括的に収集する。
		753 染織工芸	・娯楽的な一般書や実用書から入門的な学術書におけるまで、包括的に収集する。
	76 音楽	764 器楽合奏	・オーケストラに関する資料は、積極的に収集する。
		768 邦楽	・日本舞踊、能楽、狂言、歌舞伎の素地となるので、娯楽的な一般書や実用書から入門的な学術書におけるまで、積極的に収集する。特に石川県で主流の流派においては、網羅的に収集する。
		769 舞踏、バレエ	・日本舞踊については、娯楽的な一般書や実用書から入門的な学術書におけるまで、包括的に収集する。
	77 演劇	773 能楽、狂言	・娯楽的な一般書や実用書から入門的な学術書におけるまで、包括的に収集する。特に石川県で主流の流派においては、網羅的に収集する。
		774 歌舞伎	・娯楽的な一般書や実用書から入門的な学術書におけるまで、包括的に収集する。
	78 スポーツ・体育	783 球技	・(石川県にプロスポーツチームがある)野球、サッカー、バスケットボールに関する資料は、積極的に収集する。
	79 諸芸・娯楽	791 茶道	・娯楽的な一般書や実用書から入門的な学術書におけるまで、包括的に収集する。
		792 香道	・娯楽的な一般書や実用書から入門的な学術書におけるまで、積極的に収集する。
		793 花道	・娯楽的な一般書や実用書から入門的な学術書におけるまで、包括的に収集する。特に石川県で主流の流派においては、網羅的に収集する。

NDC分類			特記事項
類目	綱目	要目・細目	
8 言語			・世界の主要な言語に関する辞典類、解説書等を積極的に収集する。ただし、装丁および類書に注意し、内容の差異が小さいものに関しては収集しない。
	80 言語	801 言語学	・選択的に収集する。評価の定まった資料は積極的に収集する。
		809. 話し方、朗読 4	・話し方、スピーチに関する教養的な一般書を選択的に収集する。 ・音読に関する本など、県民の関心が高いテーマに関する一般書を積極的に収集する。
		809. 討論、会議方 6 法、ディベート	・実用書を積極的に幅広く収集する。 ・ファシリテーション・ワークショップに関する実用書、教養的な一般書を積極的に収集する。
	81 日本語	810. 日本語教育・学 7 習	・外国人の日本語学習に役立つ資料をテキストを含め積極的に収集する。ただし、問題集、書き込み箇所が大半のものは収集しない。
		816 文章、文体、作 文	・式辞、あいさつ、司会、手紙の書き方等の実用書を選択的に収集する。類書の有無に留意する。
		816. レポート・論文の 5 書き方	・積極的に収集する。類書の有無に留意する。
		818 方言に関する資 料	・教養的な一般書を積極的に収集する。北陸地方の学術書は積極的に収集する。その他の地域は偏りがないように収集する。対象地域が狭いものは限定的に収集する。
	82 中国語	820 中国語 ～ 東洋の諸言語 829	・各言語の入門書、音声付会話集は、出版点数が少ない言語については積極的に収集する。 ・出版点数が多い言語(中国語、韓国語、朝鮮語等)は選択的に収集する。 ・問題集や書き込み箇所が大半のものは収集しない。
		830 英語 ～ 839	・音声付会話集は選択的に収集する。 ・英語の入門書は限定的に収集する。 ・問題集や書き込み箇所が大半のものは収集しない。
	83 英語	837 英語多読本	・多読本は選択的に収集する
		840 ドイツ語 ～ その他ゲルマン 849 諸語	・各言語の入門書、音声付会話集は、出版点数が少ない言語に関する図書は包括的に収集する。 ・出版点数が多い言語に関する図書は選択的に収集する。
	85 フランス語	850 フランス語 ～ プロヴァンス語他 859	・問題集や書き込み箇所が大半のものは収集しない。
	86 スペイン語	860 スペイン語 ～ ポルトガル語 869	
	87 イタリア語	870 イタリア語 ～ その他ロマンス 879 諸語	
	88 ロシア語	880 ロシア語 ～ その他スラヴ諸 889 語	
	89 その他の諸 言語		・少数言語に関する図書は積極的に収集する。

NDC分類			特記事項
類目	綱目	要目・細目	
9 文学			・県民の関心が高く、また最も利用の多い分野であるが、出版点数も多く、各綱目について選択的に収集する。 ・文芸書は、単行本で購入することを基本とするが、文庫化される際に変更が多く加えられたものや、文庫でしか出版されないものに留意し、選択的に収集する。 ・全集、作品集に入っている作品でも、利用が多く見込まれるもの、また、単行本・文庫の形態の方が利用しやすいものに留意し、選択的に収集する。 ・受賞作品や話題になっている作品は、網羅的に収集する。 ・本県に係る作品は、網羅的に収集する。 ・室生犀星、泉鏡花、徳田秋声に関連する資料は、網羅的に収集する。
90 文学		901 文学理論・作法	・文学理論は専門的な学術書も積極的に収集する。 ・創作に興味を持つ利用者が多いので、創作に役立つ資料を包括的に収集する。
		902 文学史・文学思想史	・文学史は専門的な学術書も積極的に収集する。 ・様々なテーマに留意して選択的に収集する。
		904 論文集・評論集・講演集	・論文集・評論集・講演集は専門的な学術書も含め、積極的に収集する。
		908 叢書・全集・選書	・世界文学全集は、積極的に収集する。
		909 児童文学研究	・児童文学研究書は網羅的に収集する。
91 日本文学			・利用は多いが、出版点数も多いので選択的に収集する。 ・文学研究・作家研究は積極的に収集する。
		911 詩歌	・和歌・俳句の創作をする県民が多いので歌集・句集を積極的に収集する。 ・県人による個人の句集・歌集・詩集などを網羅的に収集する。 ・受賞などの話題性のある作品に留意し、包括的に収集する。
		912 戯曲	・古典だけでなく、新規の戯曲を積極的に収集する。 ・謡曲は768.4で収集する。 ・狂言は773.9で収集する。 ・歌舞伎は774で収集する。
		913 小説・物語	・古典の解釈書については、評価の高い資料を中心に積極的に収集する。 ・現代の日本の小説は、最も多く利用されているが、出版点数も多いため、選択的に収集する。 ・時事性、話題性のある作品に留意し、包括的に収集する。 ・県人による小説は網羅的に収集する。 ・ドラマ・映画等のノベライズは限定的に収集する。 ・童話は児童担当で収集する。
		914 評論・エッセイ・随筆	・現代のエッセイは利用度が高いので積極的に収集する。 ・時事性、話題性のある作品に留意し、包括的に収集する。 ・県人によるエッセイは網羅的に収集する。
		915 日記・書簡・紀行	・古典については、基本的な資料を包括的に収集する。 ・古典の解釈書については、評価の高いものを中心に積極的に収集する。 ・近代以降の作品は、評価の高いものを中心に積極的に収集する。 ・時事性、話題性のある作品に留意し、包括的に収集する。

		916 記録・手記・ルポ ルタージュ	・近代以降の作品は、評価の高いものを中心に積極的に収集する。 ・時事性、話題性のある作品に留意し、包括的に収集する。 ・「闘病記」は、患者やその家族が病気の理解に役立つものや症例が少ない病気に関する資料を選択的に収集する。 ・「安楽死」に関するルポルタージュは、偏った思想や考えに偏らないように選択して収集する。
		918 全集・作品集	・全集・選集は包括的に収集する。
	92 海外文学 ～		・海外の文学は幅広く包括的に収集する。 ・アジアの文学に留意し、包括的に収集する。 ・各国の文学研究・作家研究は包括的に収集する。 ・時事性、話題性のある作品に留意し、包括的に収集する。 ・新訳の作品に留意し、選択的に収集する。 ・ドラマ・映画等のノベライズは限定的に収集する。 ・「闘病記」は、選択的に収集する。 ・「育児」がテーマの本は、積極的に収集する。

別表4 逐次刊行物にかかる選択基準

分類		特記事項
類目等		
総合雑誌		・教養、娯楽目的のものは、県民のニーズを踏まえ、選択的に収集する。 ・世論や社会情勢を把握し、見識を深められる雑誌は、限定的に収集する。 ・扇情的な写真や、過激な記事が掲載されるものは、慎重に選定する。 ・特定の主義主張に偏重しないよう留意し、選択的に収集する。
0 総記	007 情報科学	・各主題について、幅広く実用雑誌、入門的な専門雑誌を選択的に収集する。 ・入門レベルの雑誌は限定的に収集する。
	01 図書館、図書館学	・公共図書館、児童図書館、専門図書館等を主題とする雑誌を選択的に収集する ・文書館・公文書館を主題とする雑誌は限定的に収集する。
	02 図書、書誌学	・出版情報誌は幅広い分野において限定的に収集する。
1 哲学		・入門的学術雑誌、教養的な一般雑誌を選択的に収集する。 ・各宗教の布教のための広報誌は限定的に収集する。
2 歴史	20 歴史 ～ 28	各主題について代表的な学術雑誌を選択的に収集する。一般雑誌については、客観性に基づいて書かれているかなど内容に留意し、選択的に収集する。
	29 地理、地誌、紀行	各主題について代表的な学術雑誌を選択的に収集する。一般雑誌については、客観性に基づいて書かれているかなど内容に留意し、選択的に収集する。 旅行雑誌については、広告の量などに留意し、最新の情報を得られる資料として選択的に収集する。
3 社会科学		・各主題について、一般向け雑誌および、業界の実務者向け雑誌を、選択的に収集する。 ・専門的な学術雑誌は、研究動向や社会情勢に留意しながら選択的に収集する。 ・多様な観点に立つ雑誌を特定の主義主張に偏重しないよう留意し、選択的に収集する。
4 自然科学		各主題について、一般向け雑誌および、業界の実務者向け雑誌を、それぞれ偏りなく収集する。学術誌は、主要なものを限定的に収集する。
	49 医学	・医師や医学生対象の学術雑誌は収集しない ・看護学生向けの学術雑誌については、わかりやすく病気や治療の理解に役立つものを選択的に収集する ・医療・健康情報に関係する一般雑誌は、科学的根拠、客観性に基づき選択的に収集する ・民間療法、健康法、民間薬についての記述が多い一般雑誌については、科学的根拠、客観性に基づき精査し、限定的に収集する ・医療情報(疾患に関するもの・法律・制度に関するもの)は、5年をめどに更新・除籍基準を設ける。 ・石川県や県内各市が作成、発行する医療健康情報を扱った逐次刊行物については、包括的に収集する。
5 技術		・各主題について、幅広く実用雑誌、教養的な一般雑誌、入門的な専門雑誌を選択的に収集する。
	59 家政学・生活科学	・料理、生活実用、子育ての各分野において、娯楽的な一般雑誌は限定的に収集する。
6 産業		・農林水産業や里山里海の情報を含む代表的な雑誌は積極的に収集する。 ・旅行やまちづくりに関する代表的な雑誌は選択的に収集する。

7 芸術		・美術、音楽、演劇、スポーツ、諸芸の各分野において、代表的な専門雑誌(学術的ではなく教養的なもの)を選択的に収集する。 ・学術雑誌は必要に応じて限定的に収集する。
	75 工芸	・陶磁工芸、漆工芸、染織工芸に関する代表的な雑誌は積極的に収集する。
	77 演劇	・能楽、狂言、歌舞伎に関する代表的な雑誌は積極的に収集する。
	78 スポーツ・体育	・(石川県にプロスポーツチームがある)野球、サッカー、バスケットボールに関する代表的な雑誌は積極的に収集する。
	79 諸芸・娯楽	・茶道、花道に関する代表的な雑誌は積極的に収集する。
8 言語		・主要な一般雑誌・学術雑誌を積極的に収集する。言語学習を目的とした雑誌は利用を考慮し限定的に収集する。
9 文学		・文学の各ジャンルについて、日本国内で発行された主要な雑誌を選択的に収集する。